

石垣市 家庭教育支援事業

チームの名称 石垣市家庭教育支援チーム「希・杜・南」(き・ず・な)

チームの概要 チーム員数5名(内訳:家庭児童相談員、元幼稚園教諭、元石垣市PTA連合会会長)

連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局:)
その他()

活動の概要

◆ チーム結成時期 平成29年

◆ 活動の目的・理念

「親子の触れ合いと地域との関わり」を基本とした家庭教育講座を実施し、相互の絆を深め各家庭及び地域の教育力の改善が図れるよう支援を行う。

◆ 家庭教育支援の取組概要

全ての親に対する家庭教育の体制を整えるため、地域人材を活用した家庭教育支援サポーターによる自主企画講座や、地域公民館やPTA,社会教育関係団体と連携しながら幅広い活動を実施している。



親子で水泳教室

◆ 特色のある取組

広報誌発行:チーム及び活動の周知、
家庭教育の情報提供



クリニカルアート

◆ 事業を実施して

【成果】

親子での活動により、親子のコミュニケーションのきっかけとなり自己肯定感を育むことに繋がった。

【課題】

広く市民へ周知できる効果的な広報。支援サポーターの資質向上及び人材育成

名護市 家庭教育支援事業

チームの名称 名護市家庭教育支援チーム

チームの概要 チーム員数 33名(内訳:保護者・スクールカウンセラー・元教職員等)

連携している外部人材・関係機関・団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
- 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
- 病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局:)
- その他()

活動の概要

◆ チーム結成時期 平成26年

◆ 活動の目的・理念

名護市家庭教育支援事業「つながるWaRaBarプロジェクト」を実施し、全ての親が家庭教育に関する学習ができるよう、地域における支援体制を整え、地域人材の育成や活用、学校や関係機関との連携による持続可能な仕組みをつくり、地域全体で家庭教育支援を推進することを目的とする。



◆ 家庭教育支援の取組概要

学びの場の提供

- ・子育てスキルアップ兼 人材育成講座(初級・中級・上級)
- ・家庭教育支援講座 (保護者・支援者の学び)

交流の場の提供

- ・ミニ講話・ゆんたくスペース (授業参観日の休み時間を活用)
- ・子育てサロンWaRaBar (保護者同士の情報交換・交流)



ミニ講話・ゆんたくスペース



人材育成講座

◆ 特色のある取組

市内公立小中校区(13地域)で、より地域に根ざした活動を行い、持続可能な支援体制をつくることを目標として、家庭教育支援地域チームを配置している。



夏休み書道教室(地域チーム)

◆ 事業を実施して

【成果】

地域チームのメンバーが主体となって活動の企画・運営を行い、家庭教育に関する学びや交流の場を提供することで、メンバーのスキル向上や事業全体の周知、賛同・協力者の増加につながっている。

【課題】

- ・関係機関・団体等との連携や情報共有を進め、幅広く人材発掘と育成を行う。
- ・学校・家庭・地域と連携したコミュニティ・スクールと一体的に推進する。

豊見城市 家庭教育支援事業

チームの名称 豊見城市家庭教育支援チーム

チームの概要 チーム員数10名(内訳: 社会教育指導員、PTA関係者、行政担当者等)

連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局:こども未来部)
その他()

活動の概要

◆ チーム結成時期 平成27年～(アドバイザー登録)

◆ 活動の目的・理念

すべての親が家庭教育に関する学習等ができるよう、講演会・研修会等の学習機会の提供や、情報交換ができる交流の場等をつくり、地域人材を活用したプログラムや、PTA、社会教育団体と連携しながら家庭教育力の向上を目的に幅広い活動を実施する。

◆ 家庭教育支援の取組概要

①家庭教育支援研修会の開催

○テーマ「不登校や行き渋りに対する多重知能理論を活用したアプローチ」

②家庭居支援講演会の開催(豊見城市青少年市民会議と共催で実施)

③親のまなびあいプログラムの実施

・生涯学習フェスティバル等での実施【社会教育団体と連携して、親子体験型プログラムを企画】

④家庭教育支援アドバイザー連絡会の開催(年3回程度予定)

・事業計画等の意見交換、親の学びあいプログラム・研修会等に協力してもらい連携しながら事業を推進できるよう支援チームの体制づくりに取り組む。

◆ 特色のある取組

【上映会及び講演会】

豊見城市青少年育成市民会議との共催で、映画を通して、罪を犯してしまった受刑者たちがプログラムの中で反省し、更生に向かうまでのプロセスを知り、青少年の精神福祉に関わる講師の話題提供を受けて、子どもたちが非行に走る前に地域にできることは何かを考える上映会及び講演会を行った。



◆ 事業を実施して

【成果】

参加者のアンケートに「子育ての中での子どもの特性を知ることや、能力を生かすためのヒントがたくさんあって勉強になりました。」等の回答があり、家庭教育に関する学びの提供や情報交換・交流の場を提供することができた。

【課題】

家庭教育支援が必要とされている家庭へ、情報が届くように周知方法の工夫が必要である。

本部町 家庭教育支援事業

チームの名称 本部町家庭教育支援チーム

チームの概要 チーム員数10名(内訳:コーディネーター、PTA、子ども支援員、スクールソーシャルワーカー等)

連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局:)
その他()

活動の概要

◆ チーム結成時期 令和元年

◆ 活動の目的・理念

子育てに関わる保護者へ家庭教育に関する学習機会の提供や、情報交換ができる交流の場等をつくり、保護者と子および家庭と地域が良好な人間関係を構築できるよう支援に取り組む。

◆ 家庭教育支援の取組概要

教育委員会、福祉部局等の行政や、地域の子育て支援団体、PTAなど家庭教育に関わる関係団体と連携を図り、学習機会の提供や親子体験、交流の場づくりに取り組む。

◆ 特色のある取組

親子参加型の講演会や講座等を計画している。

○ 講演:池間 哲郎 氏 による講演

場所日時調整中

○ 講座:(仮タイトル)助産師さんによる命の大切さと性教育

2/15(土)10:00~もとが文化交流センター2F研修室

親子10組20名程度



【課題】

講演会や講座等のイベントを積極的に増やしていきたい。

多くの児童生徒がクラブ活動や習い事で忙しいため、イベントの開催日時の調整が必要である。

読谷村 家庭教育支援事業

チームの名称 家庭教育相談支援チーム

チームの概要 チーム員数8名(子育てサポーター、子育て経験者、PTA関係者)

連携している外部人材・関係機関・団体等

■幼稚園 □保育所 ■小学校 ■中学校 □高等学校 □中等教育学校 □特別支援学校
□児童館 □公民館 □図書館 ■PTA □子育て・教育支援団体、NPO □企業・事業所
□病院・保健所 □家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
■行政(教育委員会) ■行政(保健・福祉部局) □行政(その他の部局:)
□その他()

活動の概要

◆ チーム結成時期 平成21年

◆ 活動の目的・理念

子育ての基礎である家庭教育力の向上を支援するために保護者のニーズを把握し関係機関と連携を図りながら家庭教育学習の機会や情報交換、交流の場づくり等、事業を展開し子育て世代の親子に寄り添う。



「ママパパ子育てゆんたく会」

◆ 家庭教育支援の取組概要

①ママパパ子育てゆんたく会(毎月第1・第2木曜日開催)

②子育て応援講座(昼の部/夜の部)、お父さんの子育て応援講座、子育てまーる講座

③家庭教育支援チームへのスキルアップ学習会の開催



子育て応援講座(夜の部)
「子供心模様～不登校の子供の心を知る～」



お父さんの子育て応援講座
「親子マネー教室」



子育てまーる講座
「ねんね講座」



家庭教育支援員スキルアップ
学習会

◆ 特色のある取組

昨年度まで実施されていた[子育てまーるリサイクル会]の名称を「ママパパ子育てゆんたく会」へ変更し、子育て中の保護者が、気軽に日頃の悩みや思い、相談を話せる(ゆんたく)場所作りを目指すものである。また、同時開催のプチリサイクル会では、経済的に子育てにかかる費用を抑えたいと考える世帯に対して、そのニーズにも応え得るものである。

◆ 事業を実施して

【成果】

利用者から「行政のどの課に相談したら良いか分からない」といった相談を受けた場合、家庭教育相談支援員より、生涯学習課担当者へ直ぐにその情報が共有される為、早い段階で適切な相談機関へのアプローチが可能

【課題】

- ・リサイクルがメインとなりやすく、家庭教育支援員の役割についての周知活動の必要性を感じる。
- ・主体的な活動を目指すうえでの人材育成と取組内容の見直し

南風原町 家庭教育支援事業

チームの名称 南風原町家庭教育支援チーム

チームの概要 チーム員数11名(家庭教育支援アドバイザー)

連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局:)
その他()

活動の概要

◆ チーム結成時期 令和5年

◆ 活動の目的・理念

子育てに関する悩みを抱えている保護者が家庭教育を行う上で必要となる学びを支援するため、学習機会や仲間づくりの場の提供を行う。

◆ 家庭教育支援の取組概要

(1)親のまなびあいプログラムの実施

(2)家庭教育支援アドバイザー研修会

家庭教育支援アドバイザーを対象とした研修会にてスクールカウンセラーを講師を招く。家庭教育支援者としての基礎知識や注意点等を学んだ。



(3)家庭教育支援事業研修会

町民を対象とした研修会にてネットいじめに関する専門家を招き、学校現場で起きたネットトラブルやいじめ、ネット依存への保護者の対応などについて学んだ。

◆ 事業を実施して

【成果】

研修会により、家庭教育支援について基礎知識を高めることができた。

【課題】

家庭教育支援チームが主体的に活動を行うためにチームリーダー・チーム員の養成が必要である。